

中立議員団で鈴鹿オートリサイクルセンターを見学



今回、車のリサイクルセンター見学に行ってきました。
非常に細かい部分まで分別されており、海外のバイヤーに部品として売られる品物や国内で中古部品として売られる物の管理状況を見て来ました。
実際のエアバックの処理や、廃ガソリンの処理も見学して来ました。
資源を有効利用し、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の徹底により廃棄物の削減に努めなければいけないと思いました。

(アルミ系のリサイクル)

(ライトやオーディオ系のリサイクル)

(樹脂系パーツのリサイクル)



(ハーネス系のリサイクル: 手作業で細かく外します)

(ゴム系のリデュース)



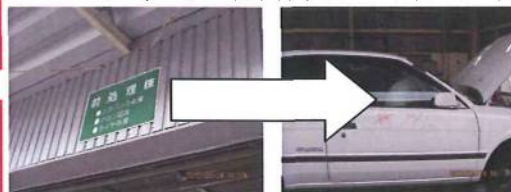
海外のバイヤーが欲しい部品を記載



海外に行く部品として扱われるフロント部分



(モーターやキャタライザーのリサイクル)



(エアバックは実際に電気信号を送り作動させる)



(廃ガソリンは、タンクに穴を開け排出。)



(一台の車は最終的にプレスされ右写真のように)



(国内向け中古パーツ管理)